

## あいさつ

校長 長谷場 明博

さいたま市立仲町小学校は、昭和27年に浦和市立仲町小学校として開校し、今年で73年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

また学区内には、さいたま市役所、うらわ美術館等、さいたま市の行政、文化の中核を担う多くの施設を抱え、大変教育環境に恵まれた学校です。

開校以来、教育実践の研究を重点に、研修、研究に取り組んでまいりましたが、特に平成元年度から平成2年度の2年間にわたり、文部省（当時）の研究開発校に指定され、「生活科」の創設に向けたカリキュラム開発に取り組み、その研究成果は全国から多くの注目を集めました。

その後も、埼玉県教育委員会やさいたま市教育委員会の研究委嘱を受けた研究実践を継続し、平成25年度には「自ら学び共に生きる子どもの育成」をテーマに生活科及び総合的な学習の時間の研究に取り組み、平成26年度には、さいたま市教育委員会、日本生活科・総合的な学習教育学会、埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会の委嘱を受けて「生活科・総合的な学習」研究発表を行いました。

平成27年度からは、常盤中学校、常盤小学校、常盤北小学校と共に小・中一貫教育に取り組んでいます。また、平成29年度からは、「自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成」を研究主題に、「日常生活に生きて働く言葉の力を高める国語科指導の工夫と改善」を副主題に設定し、国語科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究と実践に取り組んでおります。令和2年度からは、研究主題「自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成 ～授業から日常へ身に付けた力を生かしてたくましく生きる児童の育成を目指して～」で研究を進め、令和5年1月31日に「国語科」「特別活動」の研究発表会を行いました。また、令和5年5月26日には、「小学校金融経済教育」において「さいたま市教育委員会研究実践モデル校」の指定を受け、時代の変化に応じた教育活動を推進しております。

私は、令和6年4月に校長として着任しました 長谷場 明博（はせば あきひろ）と申します。今後も、校内研究を通して教育の充実を図ってきた校風を継承し、教育熱心な保護者の皆様、いつも熱い御支援をくださる地域の皆様と力を合わせて、校訓「明るく 正しく たくましく」、学校の教育目標「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の具現化を目指し、「子どもたちの自信をはぐくみ、保護者、地域の信頼に応える学校～笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小～」を築いてまいります。御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。